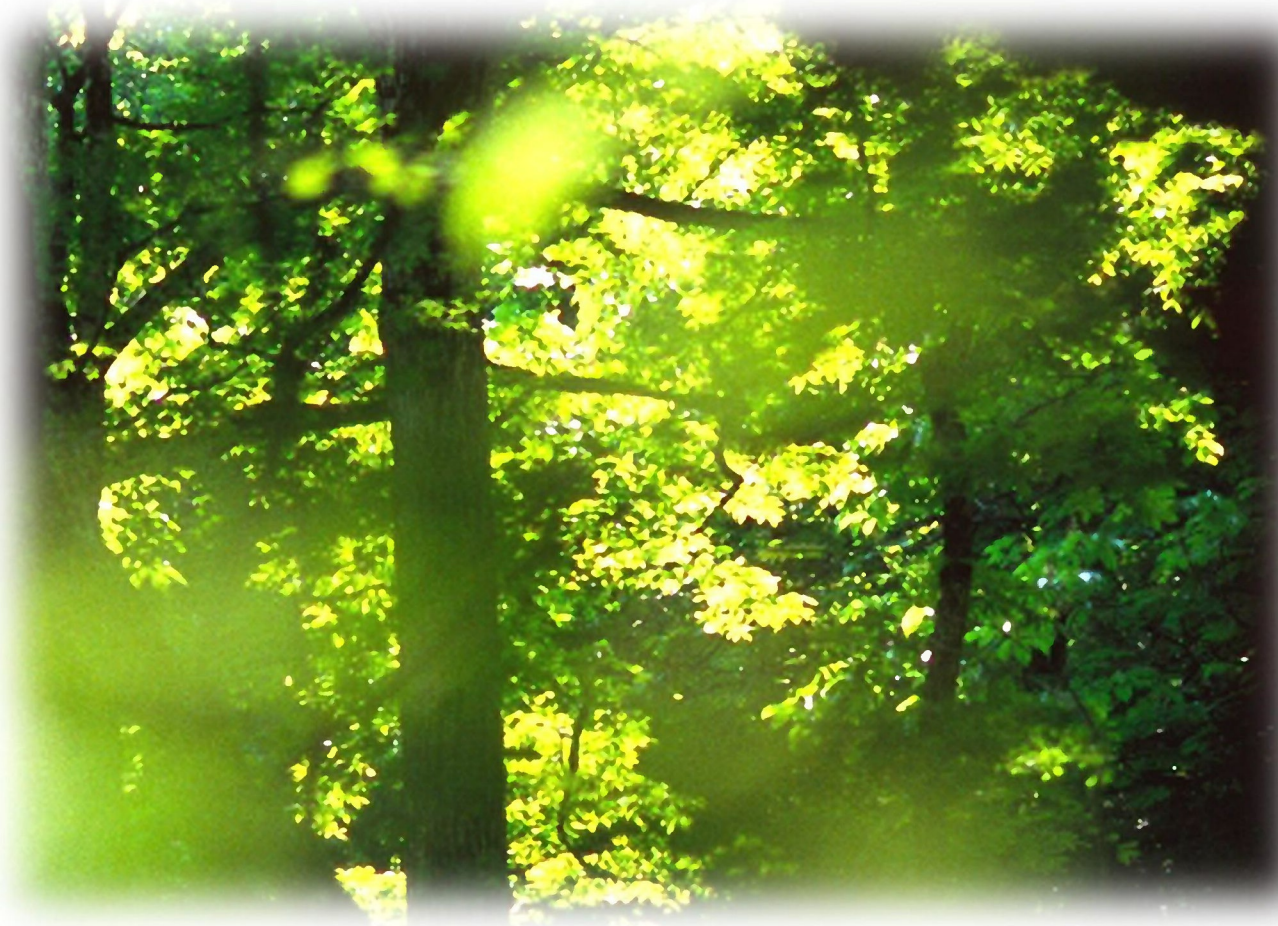


季刊

青葉の森から

第45号

2017年7月6日発行



今年の避暑は青葉の森で！

青葉の森管理センターは標高約140mの場所にあります。JR仙台駅の標高は約35mなので標高差はおよそ100m。気温は100m上昇すると約0.6℃下がるので、青葉の森は市街地より1℃くらい気温が低いこととなります。

加えて青葉の森には天然のエアコンが効いています。植物は光合成によって自分が生きていくための養分(炭水化物)をつくりますが、光合成には太陽光エネルギーと水分が必要です。光合成によって太陽光エネルギーが木々の葉で消費される(遮られる)ため気温を上げるエネルギー量が減少します。次に、水分を根から吸収するために葉の表面から常に余分な水分を蒸発させています。みなさんは濡れた手が乾くときヒンヤリした経験はありませんか。これは水分が蒸発

するときに周囲の熱を奪うためにおこる現象で「蒸散」と呼ばれています。

蒸散は植物自身の葉が熱くなることを防ぐ効果もあり、太陽に照らされたアスファルトが70℃近くになるのに対して、葉の表面は30℃程度までしか上昇しません。豊富な木々の葉が太陽光を遮り、蒸散のおかげで気温が下がります。冷やされた空気は重くなるため下へ降りていくので森林内に空気の移動が起こり、そよ風が吹きます。また、気温が下がるため地面の温度も低いままに保たれます。

このように、暑い日でも森に入ると涼しいのは、イメージではなく実際に植物たちによる気温の抑制効果が働いているためなのです。蒸し暑く寝苦しい日々が続く、どこかに避暑に行きたくなったら、地下鉄で気軽に行ける青葉の森に是非いらして下さい。(干)

夏のしぜん情報



夏、森の中で目立つのはヤマユリをはじめとするユリ科の花々。色も、大きさも、形の特徴もどれをとっても共通点など一つも無いように見える個性的な容姿をしています。それぞれの花を良く見てみると・・・“はなびら”が6枚だったり“つぼみ“や”種“は特徴が同じだったり、似ているところがあっておもしろい！（k）

7・8・9月に咲くユリ科の花

■7月初旬～中旬 ■7月下旬～8月上旬 ■8月下旬～9月

ヤブラン 花茎 ヒメヤブラン
 花茎の長さ 約30cm
 約10cm

細長い葉っぱがそっくりなこちらの3種。花の形や全体の大きさが違うので花の時期なら一目瞭然。

オオバジャンヒゲ
 花茎
 約20cm

ヤマユリ
 全域で見られます。管理センター前が特に多いです。

花茎の高さ 1m以上

豪華で香りの強い花は梅雨の明けの頃に咲き森に本格的な夏の訪れを告げます。

コバギボウシ
 全域で見られます。花木広場やこもれば広場に群生スポットがあります

花茎の高さ 30cm
 ~ 50cm

青みがかった紫色がさわやかなラッパ型の花。

夏休み終盤。8月末ごろに咲きはじめます。

ノギラン
 花茎の高さ 10cm~50cm

全域で見られます。地面に張り付くように伸びた葉が目印。

遠目にはブラシのような花姿。近づいてみるとオレンジ色の花粉がアクセントになっています。

クルマユリ
 花茎の高さ 30cm ~ 80cm

こもれば広場周辺やチゴユリの道、三居沢方面など。

葉が茎の周りを取り囲むようにつく様子から“車百合”と呼ばれています。

直径5cmほどのオレンジ色の花は花弁が外側にくるりとカールしているので丸くかわいらしい印象。

ヤマシノホトトギス
 ホトトギスよりも花数が少ない。一株に1~3個程度の花を先端につける。

このページで取り上げたユリ科の中では、面白い形の花ナンバーワン！

花茎の高さ 30cm~50cm

つぼみもコロンとしてかわいい。

アオヤギソウ
 カタクリの道やチゴユリの道などで見られます。全体が黄緑色で統一されたシンプルな色彩

花茎の高さ 30cm ~ 50cm

丸みのある花弁が優しい雰囲気です。

オオウバユリ
 花茎の高さ 1m以上

管理センター裏など日陰に多い。

クリーム色の15cmほどの大きな花が10個~20個まとまって咲くのでかなりの迫力。

番外編 **夏の蘭**

7月中旬 ツチアケビ 7月中旬 ネジバナ 8月上旬 ミヤマウスラ

『こもれび広場』のこもれび



【写真1】こもれび広場

園内にある広場の中に「こもれび広場」があります。【写真1】木漏れ日（こもれび）とは樹木の葉の間を漏れて差す日の光のことを言います。枝葉の間から漏れた日の光が地面に照らされてい

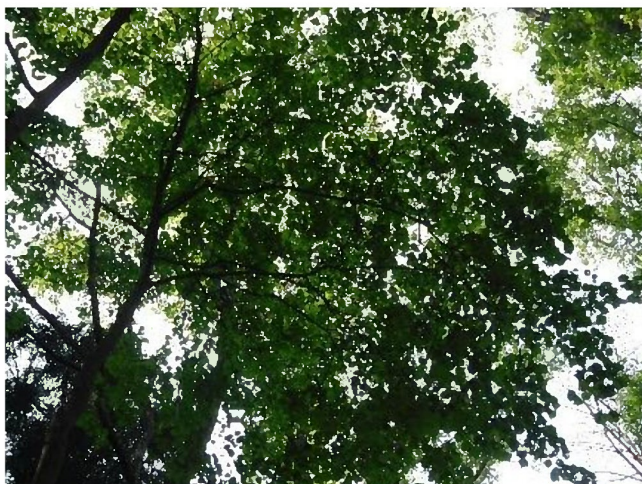


【写真2】地面に写るこもれび（シート敷いて撮影）丸い形がいくつも重なっている

ます。【写真2】地面に写るこもれびの形に注目してください。よく見るとすべて丸い水玉模様となっているのがわかります。

こもれびの光はなぜ丸い？・・・・・・・・

それは太陽の像だからなのです。（枝葉のすき間の影



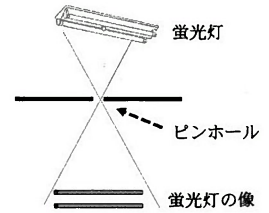
【写真3】こもれび広場から見上げた樹木。枝葉から日の光が差し込んでいます

ではなく枝葉のすき間を通った太陽の像だからです。）丸い水玉模様をつくるのは葉っぱが重なり合っ

ピンホールとは

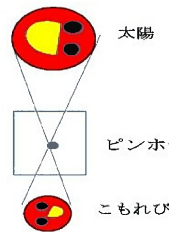
葉っぱが重なり合っ

て出来た小さな穴がピンホールカメラの原理で太陽の光（丸い太陽）が地面に結像する。この小さな穴。ピンホールの穴の形は丸でも三角、四角、星形の形にしても、穴の形に関係なく2本の蛍光灯の姿が映ります。当然丸い蛍光灯であれば丸い蛍光灯の姿が映ります。



蛍光灯の下に紙に穴を開けピンホールを作るとピンホールを通過した蛍光灯の形が床に写ります

いっぽうで部分日食など太陽の形が変わった時はこもれびの形も変化します。部分日食の日のこもれびは丸い太陽の形ではなく欠けた太陽が映る珍しい



【写真4】葉っぱのすき間に見られるピンホール

現象が起きます。この現象を知らなかった為、欠けたこもれびの形を見る事はありませんでした。次の部分日食が見られる日には欠けたこもれびを観察したいと思っています。次回の部分日食は2019年1月6日。全国各地で観測できるよう。しかし季節は冬、落葉のため夏の日のこもれびと同じとはならないかも知れません。

（あ）



【写真5】2年後の部分日食ではこのような半分かけた形のこもれびを観測できるかも

梅雨の季節をさわやかに楽しむイベントあります！

苔の魅力にふれる催し

雨が続いてこそ本来の美しさを見せてくれるのが苔！
青葉の森緑地では7月に苔（蘚類）が主役のイベントを開催します。

昨年実施したイベントは「癒しの空間～私だけの手のひら苔庭～」(平成28年7月17日)。苔盆栽を作りました。程よく水分を含んだ苔はふわふわ。そっとなでてみてもまさに癒されるさわり心地です。

今年は趣向を変えて「雨の日を楽しむ～小さな苔テラリウムづくり～」と題して平成29年7月15日（土）に実施します。用いる器によって作品の印象がガラリと変化するのがテラリウムの面白いところ。さらに利点も！蓋があるので作品の管理が盆栽よりも手軽になりました。

詳しい内容やお申込み方法は下記イベント情報を参照してください。



今回つくる予定の作品見本

イベントのお知らせ

| イベント名 | 日時 | 内容 | 対象・定員 | 申込み |
|-------------------------|-----------------------------------------|---------------------------------------------|--------------------------------------|----------------------|
| ◇雨の日を楽しむ～小さな苔テラリウムづくり | 7月15日(土) 10:00~12:00、 14:00~16:00 | 森でコケや景色を眺めた後、テラリウムを作ります。 | 午前：小学生と保護者15名(先着) 午後：高校生以上10名(先着) | 7月6日(木) 午前9時から電話 |
| ◇青葉の森の夏の陣「手づくり水鉄砲で大合戦！」 | 7月22日(土) 10:00~14:30 | 自分で竹の水鉄砲を作り、二手に分かれて陣取り合戦をします。 | 小学生と保護者30名(先着) | 7月7日(金) 午前9時から電話 |
| ◇森を歩いて木の枝集めと枝のクラフト作り | 7月30日(日) 10:00~15:00 | 森を散策しながら木の枝などを拾い、それを材料にドアプレートやボールペンなどを作ります。 | 小学生と保護者15名(先着) | 7月8日(土) 午前9時から電話 |
| ◇森でアート「森の色あそび」 | 8月20日(日) 10:00~12:00 | 自然の色に注目した観察や絵を描く遊びで森を楽しみます。 | 小学生と保護者15名(先着) | 8月6日(日) 午前9時から電話 |
| ◇大人の森あるき | 9月3日(日) 10:00~14:30 | 晩夏の森の“匂”を眺めながら散策します。 | 高校生以上15名(先着) | 8月19日(土) 午前9時から電話 |

※イベントの詳細や申込み日など変更になる場合がございます。必ず毎月発行の「市政だより」をご覧ください。ブログではイベント情報とともに園内の最新情報もお届けしています。ぜひご覧下さい！（「青葉の森ブログ」で検索）

カエンタケにご注意下さい！

一昨年から「ナラ枯れ」で立ち枯れたミズナラやコナラが目につくようになりましたが、これらから猛毒を持つ『カエンタケ』が発生する可能性があります。右の写真のようなキノコを見かけたら絶対さわらないで管理センター職員へ知らせして下さい。



◆初夏～秋に地面から赤い手がのびるように生え高さ10cm程度になる
◆極めて強い毒性を持ち、食べると死亡率が高く、触ることすら危険



季刊情報誌「青葉の森から」第45号 2017年7月6日発行
発行/編集：(公財)仙台市公園緑地協会 青葉の森緑地
青葉の森管理センター
開館時間/午前9時～午後4時30分 休館日/月曜・年末年始
〒980-0845 青葉区荒巻字青葉260
TEL：022-263-2101 FAX:022-263-2102
地下鉄東西線「青葉山駅」から徒歩15分
<http://www.sendaipark.or.jp/web/info/aobanomori/index.html>

